

平成25年度

事業報告書

自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

## 平成25年度 事業報告

都市のみどりは依然として減少傾向にあり、ヒートアイランド化の進行や身近な生き物の減少など環境問題が深刻化している中、持続的発展が可能な都市づくりとゆとりと潤いのある生活環境の実現が求められている。

また、みどりに対する市民意識の高まり、市民緑化活動の活発化、企業の社会・環境貢献活動(CSR活動)の高まりなど、自然と共生したみどり豊かな都市づくりに対する期待と関心が高まっている。

都市のみどりの保全・再生・創出を進めるためには、公共団体による緑化事業のみならず、市民による緑化活動や企業によるみどりの保全・創出に係わるCSR活動など、多様な主体が参加しての緑化と、それを支える都市とみどりに関する技術や知識の普及が必要である。

当機構は、公益法人として適切な運営に努めるとともに、安全で快適な都市環境の創造、人と自然が調和したみどり豊かな都市づくりに寄与すべく、平成25年度においては、次の事業を実施した。

### 1. 普及啓発事業

#### (1) 全国都市緑化フェアの実施

都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進するため、第30回全国都市緑化とっとりフェア「水と緑のオアシスとっとり2013」を次のとおり開催した。

主 催	鳥取県、鳥取市、公益財団法人都市緑化機構
開 催 地	主会場 湖山池公園（鳥取市） サテライト会場 とっとり花回廊（南部町） 東郷湖羽合臨海公園（湯梨浜町）
開催期間	平成25年9月21日から11月10日まで（51日間）
入 場 者	26万人

なお、長年、緑の創出・保全活動を行っている企業について、その優れた活動を全国へ広く発信し、都市緑化意識の高揚を図ることを目的に、本年度より全国都市緑化フェアの普及啓発催事の一環として「みどりの社会貢献賞」を創設し、次の優秀事例3件を表彰した。

- ダイキン工業株式会社  
「グローバル研修施設“ダイキンアレス青谷”」（鳥取県鳥取市）
- 日産自動車株式会社  
「日産テクニカルセンター、日産先進技術開発センター」（神奈川県厚木市）
- 森ビル株式会社  
「アークヒルズ・仙石山森タワー」（東京都港区）

## (2) 全国都市緑化祭の実施

全国都市緑化フェアの中心的な行事として、秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもと、平成25年度全国都市緑化祭を開催した。

主 催	国土交通省、鳥取県、鳥取市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場	鳥取県民体育館
開 催 日	平成25年10月10日(木)
式典概要	主催者挨拶 秋篠宮殿下おことば 花と緑の屋外出展コンテスト表彰 みどりの社会貢献賞表彰 とっとりグリーンウェブ活動貢献賞表彰 小学生による都市緑化宣言 閉会挨拶 (記念植樹)

## (3) 都市緑化キャンペーンの実施及び普及啓発ポスターの配布

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、下記のとおり都市緑化キャンペーンを開催するとともに、財団法人日本宝くじ協会の協力により普及啓発用ポスターを作成配布した。

### ○ 都市緑化キャンペーン

主 催	都市緑化推進運動協力会 企画運営：公益財団法人都市緑化機構
実 施 日	平成25年10月4日(金)
会 場	有楽町駅前広場(東京都千代田区)
概 要	全国都市緑化フェア等のパネルの掲出 花苗1,100鉢の配布

### ○ 普及啓発ポスター

時 期	「春季における都市緑化推進運動」(4月1日～6月30日) 「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)
配布枚数	各12,000枚
配 布 先	国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社など920団体及びその関係団体

## (4) スカイフロントフォーラム

屋上や壁面などの特殊空間の緑化を推進し、みどり豊かなうるおいのある生活環境の実現を図ることを目的として、特定非営利活動法人屋上開発研究会との共催により次のとおり第18回「スカイフロントフォーラム」を開催した。

会 場	日比谷図書文化館ホール（日比谷公園内）
開 催 日	平成25年4月19日（金）
参 加 者	86人
テ ー マ	女性力が拓くこれからの都市緑化
講 義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『生活に近い緑、触れる緑をデザインする』 安部 彩英子 和彩総合事務所 一級建築士</li> <li>・『屋上緑化と生物多様性』 永瀬 彩子 千葉大学大学院工学研究科デザイン科学 助教</li> <li>・『女性の目線が街の緑を活性化させる』 山崎 誠子 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授 有限会社GAヤマザキ 取締役 一級建築士</li> <li>・『協働でいこう！パークマネジメント時代がやってきた』 梅本 美奈子 公益財団法人東京都公園協会 公園事業部公益事業推進課都民協働係長</li> </ul>

## 2. 顕彰事業

### (1) 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・街づくりをめざし、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に先進的、意欲的に取り組み、緑化や緑の保全に良好な成果をあげている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第33回「緑の都市賞」は、審査委員会（平成25年9月19日（木）開催 委員長：樺山 紘一 印刷博物館 館長）を経て、以下のとおり10件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者
内閣総理大臣賞 [1点]	緑の市民協働部門	サンシティ管理組合 名称『サンシティ』（東京都板橋区）
国土交通大臣賞 [3点]	緑の市民協働部門	光風台 花と緑の会 名称『光風台ガーデン』（千葉県市原市）
	緑の事業活動部門	アサヒビール株式会社 神奈川工場 名称『アサヒビール株式会社 神奈川工場 緑地』 (神奈川県南足柄市)
	緑のまちづくり部門	鳥取市
都市緑化機構 会長賞 [3点]	緑の市民協働部門	特定非営利活動法人加治丘陵山林管理グループ 名称『加治丘陵さとやま計画区域』（埼玉県入間市）
	緑の事業活動部門	舞多聞エコ倶楽部／神戸芸術工科大学／独立行政法人都 市再生機構 西日本支社 名称『ガーデンシティ舞多聞「みついけプロジェクト・ てらいけプロジェクト」』（兵庫県神戸市）
	緑の事業活動部門	本田技研工業株式会社 埼玉製作所寄居工場 名称『本田技研工業株式会社 埼玉製作所寄居工場 緑地』（埼玉県大里郡寄居町）

賞	部 門	受 賞 者
奨励賞 [3点]	緑の市民協働部門	山法師の会 名称『大興禅寺 里山』（愛知県知多市）
	緑の市民協働部門	港区立青山小学校 名称『港区立青山小学校「青山里山プロジェクト」』（東京都港区）
	緑の事業活動部門	ダイキン工業株式会社 名称『ダイキン工業グローバル研修施設「ダイキンアレス青谷」』（鳥取県鳥取市）

## (2) 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール

都市のヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保等都市環境の改善に資するため、過密化する都市に残る貴重な未利用空間である建築物等の屋上や壁面、人工地盤や駐車場などの特殊空間における緑化に関する優れた技術、作品を顕彰している。

第12回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」は、審査委員会（平成25年9月11日（水）開催 委員長：近藤 三雄 東京農業大学教授）を経て、以下のとおり12件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者
国土交通大臣賞 [2点]	屋上緑化部門	名称『東急キャピタルタワー』（東京都千代田区） 東京急行電鉄株式会社／永田町二丁目計画 東急設計コンサルタント・観光企画設計社 設計共同企業体／株式会社隈研吾建築都市設計事務所／株式会社プレイスメディア／清水建設株式会社／株式会社日比谷アメニス
	壁面・特殊緑化部門	名称『チャンネルシティ博多 イーストビル』（福岡県福岡市） 福岡地所株式会社／株式会社日本設計／株式会社フジタ九州支店／西武造園株式会社
環境大臣賞 [2点]	屋上緑化部門	名称『首都高大橋換気所 屋上自然再生緑地「おおはしりの杜」』（東京都目黒区） 首都高速道路株式会社
	壁面・特殊緑化部門	名称『味の素スタジアム 西競技場』（東京都調布市） 東京都／株式会社日本設計
日本経済新聞社賞 [2点]	屋上緑化部門	名称『東急プラザ 表参道原宿「おもはらの森」』（東京都渋谷区） 東急不動産株式会社／株式会社NAP建築設計事務所／株式会社竹中工務店／株式会社石勝エクステリア
	壁面・特殊緑化部門	名称『住友商事神保町ビル』（東京都千代田区） 住友商事株式会社／株式会社日建設計／住友林業緑化株式会社
都市緑化機構 会長賞 [2点]	屋上緑化部門	名称『第一生命新大井事業所』（神奈川県足柄上郡大井町） 第一生命保険株式会社／株式会社竹中工務店
	壁面・特殊緑化部門	名称『MIHO美学院中等教育学校 壁面緑化』（滋賀県甲賀市） I O ARCHITECTS LLP／小松精練株式会社／株式会社トーケン

賞	部門	受賞者
都市緑化機構 理事長賞 〔2点〕	屋上緑化部門	名称『豊洲キュービックガーデン 屋上庭園』 (東京都江東区) 第一生命保険株式会社/株式会社第一ビルディング/清水建設株式会社/株式会社フィールドフォー・デザインオフィス/イビデングリーンテック株式会社
	壁面・特殊緑化部門	名称『西早稲田キャンパス65号館 壁面緑化』 (東京都新宿区) 学校法人早稲田大学/大成建設株式会社/内山緑地建設株式会社/オリジナルシステムプランニング/株式会社マリンフロート
審査委員会 特別賞 〔2点〕	屋上緑化部門	名称『四ツ谷駅エコステ』(東京都新宿区) 東日本旅客鉄道株式会社/第一園芸株式会社/東鉄工業株式会社
	壁面・特殊緑化部門	名称『松坂市庁舎本館 耐震補強フレームを活用した「緑のショール」』(三重県松坂市) 前田建設工業株式会社/松坂市/岩間造園株式会社/株式会社杉孝

### (3) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及協会、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第23回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（平成25年9月13日（金）開催 委員長：比嘉 照夫 名桜大学教授）を経て、以下のとおり92件が受賞した。

賞	部門	受賞者
花のまちづくり大賞	農林水産大臣賞 〔2点〕	団体部門 鹿児島市立西柴原小学校（鹿児島県） 個人部門 福田 具可（群馬県）
	国土交通大臣賞 〔2点〕	団体部門 牧之原市花の会（静岡県） 団体部門 昆陽南公園苗圃を活用する会（兵庫県）
花のまちづくりコンクール推進協議会会長賞 〔9点〕	市町村部門	鴻巣市（埼玉県）
	団体部門	宮前コミュニティガーデン実行委員会（神奈川県）
	団体部門	長岡市立桂小学校（新潟県）
	団体部門	サークル美化（福井県）

賞		部 門	受 賞 者
花のまちづくり優秀賞	花のまちづくり コンクール 推進協議会会長賞 〔9点〕	団体部門	新川姫蛭と花を守る会（大阪府）
		団体部門	青柳川を守る会（宮城県）
		個人部門	中井 哲男（兵庫県）
		個人部門	吉田 博美（福岡県）
		企業部門	有限会社笹生農園 レストラン栗の里（神奈川県）
花のまちづくり奨励賞	花のまちづくり コンクール 審査委員会賞 〔10点〕	団体部門	札幌市立三角山小学校 花壇ボランティア（北海道）
		団体部門	中之条町花の会（群馬県）
		団体部門	新磯ざる菊愛好会（神奈川県）
		団体部門	長岡市立前川小学校（新潟県）
		団体部門	豊まちづくり推進協議会（福井県）
		団体部門	グループ緑のこだま（兵庫県）
		団体部門	北九州市立早鞆中学校（福岡県）
		個人部門	熊谷 哲／恵子（兵庫県）
		個人部門	尾前 篤子（宮崎県）
		個人部門	恒吉 佳久子（宮崎県）
審査委員会特別賞〔1点〕	個人部門	手嶋 眞二（山口県）	

■花のまちづくり入選〔33点〕

■花のまちづくり努力賞（若葉賞）〔3点〕

### 3. 助成事業

#### （1）緑の環境デザイン賞

みどり豊かな都市環境の形成を図るとともに、人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成を目指し、地域の美しい景観を形成すると同時に人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する優れた緑化プランを顕彰し、その実現のための助成を第一生命保険株式会社との共催により実施している。

第24回「緑の環境デザイン賞」は、審査会（平成25年10月16日（水）開催 委員長：進士 五十八 早稲田大学大学院客員教授）を経て、以下のとおり5団体に対して、約4000万円（1団体あたり約800万円）の助成を行った。

賞	受賞者	緑化場所
国土交通大臣賞 [2点]	豊島区立仰高小学校	『豊島区立仰高小学校』（東京都豊島区）
	特定非営利活動法人石山名月の会	『石山寺参道』（滋賀県大津市）
緑化大賞 [3点]	社会福祉法人共育会 メリーランド 保育園	『メリーランド 自然体験・交流の森』 （栃木県下都賀郡壬生町）
	社会福祉法人得雲会 青松こども園	『青松こども園』（愛知県豊田市）
	あけもどろ緑の会	『旭ヶ丘公園』（沖縄県那覇市）

## （2）花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

支援の期間は3年間で、1団体あたり初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円の総額125万円を上限に助成を行っている。

平成25年度は、選考委員会（平成26年2月13日（木）開催 委員長：蓑茂 壽太郎 東京農業大学客員教授）を経て、以下のとおり19団体を新たに決定したほか、2年目継続23団体、1年目15団体に対する支援を行った。

### ■森づくり活動団体

団体名	活動地域	活動名
桜の名所を創る会	北海道 網走郡美幌町	多様なサクラで日本一の桜の名所をつくる
チェンジ・6	茨城県 北相馬郡利根町	放置されてきた野生植物園の復元
特定非営利活動法人ラーバン千葉 ネットワーク	千葉県 印西市	「草深の森」の保全整備事業
特定非営利活動法人つるがしま 里山サポートクラブ	埼玉県 鶴ヶ島市	子どもの歓声あふれる森づくり
瀬戸椿の会	愛知県 瀬戸市	瀬戸 赤津 凧山 つばきの森 整備事業



団 体 名	活動地域	活 動 名
「日永梅林・登城山」を復活させる会	三重県 四日市市	「日永梅林・登城山」の復活再生プロジェクト
特定非営利活動法人うにの郷クラブ	三重県 多気郡明和町	斎王竹の道里山保全
特定非営利活動法人里山を守る会 武並	岐阜県 恵那市	たいれいロードパーク里山整備計画
ECOKA委員会	奈良県 生駒市	鹿ノ台周辺緑地再生活動－森と花木と水で自然と生活者の調和を－
コミュニティひばり 環境部会 (北雲雀きずきの森きずな会)	兵庫県 宝塚市	北雲雀きずきの森の再生と活動の多様化
特定非営利活動法人 しだれの里を 創る会	大分県 竹田市	美しい里山づくりで活気ある地域づくりを

#### ■環境教育活動団体

団 体 名	活動地域	活 動 名
特定非営利活動法人ひらた里山の会	山形県 酒田市	みんなでつくる悠々の杜推進プロジェクト
広瀬川河畔緑の少年団	群馬県 前橋市	未来に託す木々たち『未来木々（ミライモクモク）』プロジェクト
土屋里地里山再生グループ	神奈川県 平塚市	自然と人間が共存する里山の姿を伝承する歩み
特定非営利活動法人恵那山みどりの会	岐阜県 中津川市	森に声をかけよう。友達になろう。
みやこだ自然学校の会	静岡県 浜松市	里山ガーデンプロジェクト
特定非営利活動法人自然回復を試みる会 ピオトープ孟子	和歌山県 海南市	孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト～伝えよう未来に、広めよう地域に～
特定非営利活動法人社会還元センター グループわ	兵庫県 神戸市	カブトムシの棲み家づくりから成虫までの生育観察
特定非営利活動法人珊瑚舎 スコーレ	沖縄県 那覇市	島型循環エコシステム 古民家再生プロジェクト

### (3)「高原基金の森」支援事業

全国各地に特徴のある森づくりが広がり、将来のガーデンアイランド化を目指し、高原基金の森事業としてこれまでに整備した緑地の維持管理活動に取り組む市民活動団体への助成を行っている。

平成25年度は、「長崎山さくらの里づくり協議会」（山梨県富士河口湖町）、公益財団法人そらぷちキッズキャンプ（北海道滝川市）の2団体に対して総額20万円の助成を行った。

#### (4) フラワーポール等普及事業

良好な都市空間の創造や子どもからお年寄りまで誰もが利用しやすい公園等の整備、都市の環境問題の改善に寄与するため、財団法人日本宝くじ協会の協力により安全性や耐久性のほか、デザイン性や維持管理などの面で優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等を都市公園等の公共施設に提供している。

平成25年度は、応募のあった全ての地方公共団体に対して、予算の範囲内で以下のとおり22団体に対してユニバーサルデザイン施設50基を提供した。

北海道札幌市、青森県八戸市、群馬県、群馬県前橋市、栃木県足利市、埼玉県越谷市、千葉県千葉市、神奈川県川崎市、長野県長野市、静岡県袋井市、静岡県焼津市、愛知県豊橋市、新潟県、富山県射水市、石川県、滋賀県高島市、大阪府堺市、奈良県橿原市、奈良県葛城市、広島県三原市、長崎県、熊本県熊本市

#### (5) 被災地の花・みどり提供事業

東日本大震災の被災地において、緑とのふれあいによって仮設住宅等での避難生活を余儀なくされる被災者の心のケアや仮設住宅地での新たなコミュニティを生み出すきっかけとなることを願って、財団法人日本宝くじ協会の協力により岩手県、宮城県、福島県等に建設された被災者のための仮設住宅等に対する花苗とプランターを提供する事業を平成23年度より実施している。

平成25年度は、以下の11団体105箇所の仮設住宅等に、計4,430基を提供した。事業開始からの累計提供基数はおよそ1万2千基、累計提供団体数は5県の26団体となった。

岩手県釜石市、岩手県大船渡市、岩手県大槌町、岩手県田野畑村、宮城県仙台市、宮城県気仙沼市、宮城県亘理町、福島県白河市、福島県相馬市、福島県矢吹町、福島県桑折町

### 4. 調査、研究及び技術開発及びこれらの成果の普及

都市緑化の技術や知識を普及し、都市における自然環境の保護及び整備、安全でうるおいのある生活環境の形成を図るため、自主研究、共同研究、受託研究等の方法により、都市緑化における緑地の保全、再生及び創出、良好な緑化空間の創出、植栽植物の育成及び管理等に関する調査・研究及び技術開発に取り組んだ。

平成25年度における主な活動は、次のとおりである。

#### (1) 共同調査研究

##### ① 特殊空間緑化に関する調査研究

学会における特殊緑化技術に関する研究活動と、本研究参加者の研究活動への理解を深めるため、「平成25年度 特殊緑化に関する若手研究者・企業関係者の合同発表会」を実施した。

また、防災緑化型駐車場の普及啓発活動に向けた検討を一般社団法人プレハブ駐車場工業会のメンバーと共同で行った。

そのほか、南京世界屋上緑化大会への参加、Dr. Puay Yok Tan(シンガポール大学)との交流会を開催し、情報収集を図った。

## ② 公園緑地における防災技術に関する調査研究

東日本大震災の被災地の岩手県陸前高田市における被災後の状況について、市及び住民、NPO団体等から聞き取り調査を行い、被災地調査を踏まえた公園緑地の充実、活用に関する研究調査を検討した。

また、防災公園事例集及び防災公園技術ハンドブック施設資料集の改訂に向けた編集作業を行った。

## ③ ユニバーサルデザインに関する調査研究

これまでのユニバーサルデザインに関する調査研究成果を踏まえつつ、従来からの研究テーマである「都市公園におけるバリアフリーチェックシート」の改良と情報蓄積を行うとともに、これまでの研究成果をまとめた書籍の発行に向けての検討を行った。

## ④ グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

東京都が推進する校庭芝生化事業を支援するとともに、地域性系統緑化の生産や利用の実態を把握するための準備を進めた。

さらに、ガーデニングの普及啓発を目的とした「花の開花日調査」の実施に向けて検討を行った。

## ⑤ 都市の緑環境に関する調査研究

「造園家が考える緑の墓園」のケーススタディを昨年に引き続き実施し、報告書を作成した。

マンション等の集合住宅のみどりを対象とした緑の改善に関する総合的な取り組みを推進するため、マンションのみどり改善ガイドの作成を進めた。

また、植物性発生材の土壌への炭素固定効果について調査研究を取りまとめた。

## ⑥ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

単に緑の空間の創造にとどまらず、その利用方法や維持管理手法の提案の検討を行った。雨水貯留浸透槽用充填材及び埋戻し材の植栽基盤としての利用可能性を調べるための樹木植栽実験等を行った。

## (2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国、地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

### ① 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査研究及び技術開発

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の次期枠組への対応方針等検討調査

- ・平成25年度 深大寺・佐須地域環境資源保全活用検討業務委託
- ・平成25年度 沖縄における生物を活用した循環・共生型の都市緑化等推進検討業務
- ・H25 国営武蔵丘陵森林公園運営維持管理に関するモニタリング調査業務
- ・H25 国営東京臨海広域防災公園運営維持管理に関する調査検討業務
- ・H25 国営昭和記念公園こどもの森他再整備計画策定業務
- ・園芸植栽を活用したUR賃貸住宅のストック改善方策検討業務
- ・賃貸住宅における造園設計及びコスト検討業務

### ② 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査研究及び技術開発

- ・屋上緑化・壁面緑化の施工実績及び維持管理・更新検討業務

### ③ 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査

- ・東京都公立小中学校、幼稚園・認可保育所の芝生化に対する技術支援
- ・東京都学校施設等の校庭芝生化に関する検討調査

### ④ 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査研究

- ・社会経済情勢の変化に対応したみどりのあり方に関する検討調査
- ・全国都市緑化フェアの開催効果と今後の展開に関する検討業務
- ・山口県緑化普及推進施策に関する検討業務委託
- ・全国都市緑化フェア事業 横浜市開催検討業務

## (3) 先進緑化技術研究

平成25年度先導的都市環境形成促進事業「先進緑化技術開発助成事業」に採択された以下の技術開発を実施した。

- ・樹木の温熱環境改善ポテンシャルの把握による屋外温熱環境設計手法の技術開発
- ・屋上緑化の昇降技術の開発
- ・歩行者と自転車を区画し都市環境向上に資する緑化技術の開発  
～歩行者・自転車緑化分離帯「セーフティグリーンウォール」の開発～
- ・屋上緑化用植物の耐乾性究明の技術開発

## (4) 科学技術研究

科学技術研究費助成事業（科研費）に採択された以下の研究を実施した。

- ・ライシメーター法による実大樹木の蒸散量計測によるヒートアイランド対策への展開

## 5. 評価事業

### (1) 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）」とは、緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する制度であり、平成25年度においては以下のとおり認定した。

■既存緑地（新規）

企 業 名	サ イ ト 名
株式会社晴海コーポレーション	晴海アイランド トリトンスクエア（東京都中央区）

■既存緑地（更新）※3年ごとに実施する現地踏査を伴う審査

企 業 名	サ イ ト 名	初回認定年
三井住友海上火災保険株式会社	駿河台ビル／駿河台新館（東京都千代田区）	2005年
シミックCMO足利株式会社	シミックCMO足利株式会社（栃木県足利市）	2005年
トヨタ自動車株式会社	トヨタの森（愛知県豊田市）	2005年
アサヒビール株式会社	神奈川工場（神奈川県南足柄市）	2005年
ソニーイーエムシーエス株式会社 幸田サイト	ソニーイーエムシーエス株式会社 幸田サイト （愛知県額田郡幸田町）	2005年
花王株式会社	和歌山工場（和歌山県和歌山市）	2005年
サンデン株式会社	サンデンフォレスト・赤城事業場（群馬県前橋市）	2008年
西武鉄道株式会社	飯能・西武の森（埼玉県飯能市）	2008年
立正大学	熊谷キャンパス（埼玉県熊谷市）	2008年
出光興産株式会社	千葉製油所・工場（千葉県市原市）	2008年
株式会社グリーン・ワイズ	本社緑地（東京都多摩市）	2008年

■既存緑地（維持）※更新審査の間に認定ラベルを維持するための書類のみの審査

企 業 名	サ イ ト 名	初回認定年
富士通株式会社	沼津工場（静岡県沼津市）	2006年
ソニーセミコンダクタ株式会社	大分テクノロジーセンター（大分県国東市）	2007年
出光興産株式会社	北海道製油所（北海道苫小牧市）	2010年
出光興産株式会社	徳山事業所（山口県周南市）	2010年

企 業 名	サ イ ト 名	初回認定年
出光興産株式会社	愛知製油所（愛知県知多市）	2010年
株式会社ディスコ	広島事業所 桑畑工場（広島県呉市）	2012年
株式会社ディスコ	R & Dセンター（東京都大田区）	2012年

■都市開発版

企 業 名	サ イ ト 名
N T T 都市開発株式会社	芝浦水再生センター再構築に伴う上部利用事業 （東京都港区）
三菱地所株式会社	（仮称）大手町1-1計画（A棟・B棟） （東京都千代田区）

■都市のオアシス

企 業 名	サ イ ト 名
株式会社三越伊勢丹ホールディングス	伊勢丹新宿本店 屋上アイ・ガーデン（東京都新宿区）
晴海アイランドトリトンスクエア4管理組合	晴海アイランド トリトンスクエア（東京都中央区）
三井住友海上火災保険株式会社	三井住友海上駿河台ビル 駿河台新館E COM駿河台 （東京都千代田区）
三菱地所株式会社	丸の内パークビルディング 三菱一号館 （東京都千代田区）
新日鉄興和不動産株式会社	赤坂インターシティ・ホームATTバイカウント （東京都港区）
株式会社明電舎／株式会社世界貿易センタービルディング	Think Park Forest（東京都品川区）
株式会社高島屋	新宿タカシマヤ タイムズスクエア（東京都新宿区）
住友商事株式会社	住友商事竹橋ビル（東京都千代田区）
東急不動産株式会社	東急プラザ 表参道原宿（東京都渋谷区）
株式会社三越伊勢丹ホールディングス	三越日本橋本店 屋上切尔西ガーデン （東京都中央区）
森ビル株式会社	アークヒルズ（東京都港区）
森ビル株式会社	六本木ヒルズ（東京都港区）

企 業 名	サ イ ト 名
三井不動産株式会社	東京ミッドタウン（東京都港区）
N T T都市開発株式会社／日通商事株式会社／プレミア投資法人	G r a n p a r k（グランパーク）（東京都港区）
株式会社丸井グループ	中野マルイ 四季の庭・水辺の庭（東京都中野区）

## （２）都市緑化技術の審査・証明

都市緑化技術の審査証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係わる公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、その周知広報に努めた。

## 6. 人材の育成、情報の発信、国際協力等

### （１）調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対し、技術開発基金による助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

平成25年度は、以下の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。

所属研究機関	研究テーマ
北海道大学大学院	都市緑化木の風倒危険度評価に関する研究
新潟大学大学院	緑地環境の再生に資する自己治癒機能を付加した植生基盤材の開発
東京大学大学院	気温に対する説明力にすぐれた緑地指標の評価手法に関する研究
室蘭工業大学大学院	生物多様性の価値評価に基づいた都市の緑地計画に関する研究
東京都市大学大学院	音による都市生態系の評価手法に関する研究

### （２）都市緑化技術研修会の実施

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、下記のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
 開 催 日 平成26年1月16日（木）～17日（金）  
 参 加 者 57人  
 テ ー マ 多様な主体による魅力あるみどりのまちづくり  
 ～保全・創出から行政のサポートまで～

- 講 義
- ・『公園緑地・都市緑化行政の動向』  
町田 誠 国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
  - ・『これからの環境都市づくりの課題 － 2020年東京オリンピックを見据えて－』  
青山 侑 明治大学大学院 教授
  - ・『みどりの価値を高めるための県民緑税の導入効果と今後の展開』  
陰山 晶彦 兵庫県県土整備部都市政策課 副課長
  - ・『ヨーロッパのグリーンインフラストラクチャー － ドナウ川流域の事例－』  
一ノ瀬 友博 慶應義塾大学環境情報学部 教授
  - ・『みどりの価値をどう認識するか － 身体感覚としての快適性の視点から－』  
江間 直美 江戸川大学 准教授
  - ・『日本再生と震災復興に果たす緑地 － 都市農村の社会的共通資本として－』  
石川 幹子 中央大学理工学部 教授
  - ・『いかにして多様な主体をみどりづくりに取り入れるか』  
原口 真 株式会社インターリスク総研 マネージャー
- 現地視察 三井住友海上駿河台ビル 本館・新館 ECOM駿河台

### (3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査・研究成果の発表等を内容とする機関紙「都市緑化技術」を発行している。

平成25年度は、「都市緑化技術の最新動向」、「医療・福祉とみどり」、「公共団体における緑のとりくみ」をテーマに3号を発行した。

また、民間事業者の緑化先進事例紹介を中心とした「都市の魅力と価値を高める“緑”」とする増刊号を発行し、通常の配布箇所に加え都市開発事業者、経団連自然環境保護協議会会員等に配布した

発行部数 (各号)	2,000部
配布箇所数 (各号)	1,000箇所

### (4) 造園CPDプログラムへの登録

都市のみどりに関わる技術者の緑化技術の向上等を目的として、造園CPD協議会に参加し、主催する以下の事業について造園CPDプログラムへの登録を行った。

- ・第18回「スカイフロントフォーラム」  
女性力が拓くこれからの都市緑化 (平成25年4月19日)



- ・平成25年度 都市緑化技術研修会  
多様な主体による魅力あるみどりのまちづくり ～保全・創出から行政のサポートまで～（平成26年1月16日～17日）

#### **(5) その他の情報発信**

市民の都市緑化意識の高揚を図るため、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の協力を受け、冊子「生き物共生まちづくりのてびき」を作成、配布したほか、ホームページを通じた都市緑化に関する様々な情報発信に努めた。

#### **(6) 植樹保険制度の活用支援**

植樹保険の団体保険契約者として植栽工事請負者をまとめ、枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう制度の活用支援を行っており、平成25年度における植樹保険の付保件数は、675件である。

#### **(7) その他の協賛、協力等**

平成25年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛のほか、都市緑化基金等連絡協議会（会員数64団体）の活動に事務局として協力した。

### **7. 会議の開催**

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

#### **(1) 理事会**

- ・平成25年4月3日（水） 第1回臨時理事会  
議案 会長、理事長及び専務理事の選定について  
平成25年度事業計画及び収支予算（案）について  
基本財産について  
理事会運営規則について  
事務所の移転について
- ・平成25年5月27日（月） 第2回通常理事会  
議案 平成24年度事業報告及び収支決算について  
資産運用管理規程の制定について  
定時評議員会の開催について
- ・平成25年11月12日（火） 第3回臨時理事会  
議案 資産運用管理規程の制定について  
平成25年度資産運用方針について  
コンプライアンス規程の制定について  
寄附金規程の制定について

- ・平成26年3月14日（金） 第4回通常理事会  
議案 平成26年度事業計画及び収支予算（案）について  
平成26年度資産運用方針について  
基本財産について  
顧問の選任について  
会計規程の整備について

## （2） 評議員会

- ・平成25年6月21日（金） 第1回定時評議員会  
議案 平成24年度事業報告及び収支決算について  
理事の選任について  
評議員会運営規則について

## 8. 理事の異動

平成25年6月20日付で平本洋理事が辞任し、平成25年6月21日付で池田浩之と砂田健次を新たに理事として選任した。

※平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。